

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~



平成30年3月2日
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

実施日の変更: 3月7日(水)に延期します。

豪雨で被災した棚田の再生、そして、災害を忘れないために… 復旧した田の畦に、姫治小としては最後の「彼岸花の球根植栽」

平成24年7月の九州北部豪雨で被災した日本棚田百選つづら棚田で、復旧工事を終えた田の畦に地元小学校児童が住民の協力で彼岸花の球根を植栽する。

球根に毒性を含む彼岸花は昔、モグラ除けとして植えられた。毎年9月、7畝300枚ほどの棚田には黄金色の稲穂をバックに真っ赤な彼岸花が咲き誇る。(写真1)

平成26年に復旧工事を終えた棚田では、水害で流された彼岸花の球根を取り戻そうとボランティアが度々、畦への球根の植栽に取り組んできた。(写真2、3)

今月末に閉校となる姫治小学校としては、今回が最後の植栽となる。



■日時 **3月7日(水)午後2時10分**から
(1時間程度) ※**3月5日(月)が雨の予報のため、延期日の3月7日(水)に実施します。**

■場所 日本棚田百選「つづら棚田」
にしかわ
(うきは市浮羽町新川)

■問い合わせ
姫治小学校 TEL0943-77-3109



写真1=彼岸花の里として知られるつづら棚田



写真2=被災した棚田を復旧するボランティア



写真3=彼岸花の球根を植えるボランティア

編集・送信: うきは市総務課広報係 (TEL0943-75-4980)

※FAXを手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 **うきはブランド通信**

2018.3.2 発表/被災した棚田の再生、そして、災害を忘れないために…復旧した田の畦に「彼岸花の球根植栽」